

◆ ゆまに学芸選書 ULULA 7 ◆

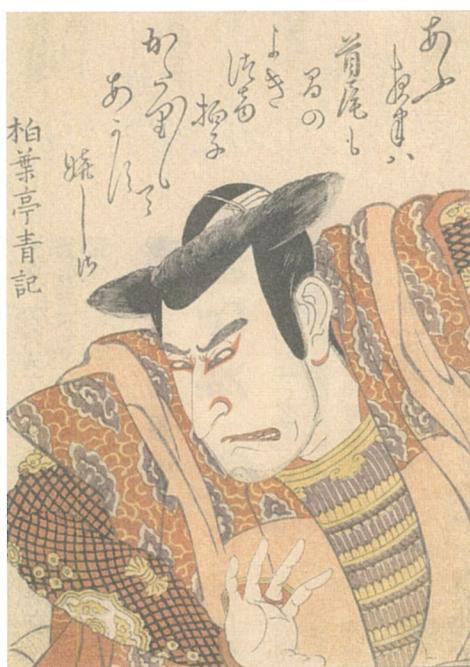
虚構と現実を織り交ぜて ヒット作を量産した 南北の巧みな戯作術を探る

大田南畠や山東京伝、式亭三馬ら同時代の戯作者たちや社会との関わりの中で、観客を喜ばせる作品を量産した鶴屋南北の足跡をやわらかな筆致で描いた著者渾身の書。

津川安男(つがわ・やすお)

大阪市出身。早稲田大学卒業後、1962年NHK入局。演劇を素材とする中継番組、ドキュメンタリー、テレビ小説、銀河テレビ小説などを担当。ドキュメンタリー「雪と炎の祭り」でダブリン国際フェスティバル銀賞受賞。1990年、ドラマ部チーフプロデューサーでNHKを退職。株式会社東京芸術プロジェクト設立。2000年から著述業に従事する。著書に『徳川慶喜を紀行する一幕末二十四景』(新人物往来社、1998)、『元禄を紀行する—忠臣蔵二十二景』(同、1999)、『歌舞伎いま・むかし』(同、2004)など。現在、公益財団法人都民劇場評議員・企画委員。日本演劇協会会員。

▼国立国会図書館蔵『俳優相貌鑑』
(享和四年)より「天竺徳兵衛」



●定価1,890円(本体1,800円)
四六判／上製カバー装
ISBN978-4-8433-3942-8 C1323

ヒットメーカー

歌舞伎作者・鶴屋南北の足跡

著・津川安男

2012年
11月刊行

ゆまに
書房

http://www.yumanin.co.jp
〒101-0047 千代田区内神田2-7-6
TEL.03(5296)0491
FAX.03(5296)0493

※申込締切(2012年11月14日)後は、返上付き注文にても承ります。

●広告予定● 全国紙、地方紙、雑誌など。

申込書
(貰店印)

申込締切 11月14日

部
新刊
託
委

[著] 津川安男

ゆまに学芸選書 ULULA 7

江戸のヒットメーカー

歌舞伎作者・鶴屋南北の足跡

ISBN978-4-8433-3942-8 C1323

定価1,890円
(本体1,800円+税5%)

ゆまに書房

〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL.03(5296)0491
FAX.03(5296)0493

年 月 日

●…………ゆまに学芸選書ULULA…………●

四六判・上製・カバー装

◆1◆ 磯崎康彦 著

松平定信の生涯と芸術

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3468-3 C1023 30歳の若さで老中首座に就任、寛政の改革を行った松平定信。その生涯を政治面ばかりではなく、多才な芸術面にも光をあてた新たなる松平定信伝の試み。

◆2◆ 田代和生 著

新・倭館 —鎖国時代の日本人町

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3612-0 C1321 鎖国時代、もう一つの長崎・出島があった。日朝交流史と釜山の日本人町に生きた人々の克明な生活記録。江戸期、貿易・外交の最前線を活写。

◆3◆ 青木 健 著

江戸尾張文人交流録

—芭蕉・宣長・馬琴・北斎・一九

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3613-7 C1391 芭蕉・宣長・馬琴・北斎・一九といった江戸時代の代表的文人は、尾張・名古屋とどのように関わりあったのか。東海地方と江戸との文人交流、当時の出版文化をたどる。

◆4◆ 志村和次郎 著

富豪への道と美術コレクション

—維新後の事業家・文化人の軌跡

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3614-4 C1370 日本の事業家たちは如何にして巨万の富を成し、自らの財を美術品蒐集の名で世に還元したのか? その知られざる事業家たちの秘話に迫る。

好評発売中

◆5◆ 東京の満蒙開拓団を知る会 著

東京満蒙開拓団

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3940-4 C1321 本格的な満蒙開拓団は東京のルンペン開拓団であり、最後の開拓団も東京の疎開開拓団であった……。「東京発」の満蒙開拓団を追った市民による歴史研究。

◆6◆ 田中 剛 著

菊と葵 —後水尾天皇と徳川三代の相克

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3941-1 C1321 天下人・家康が挑む朝廷の権威への介入。秀忠の娘和子入内、女帝誕生……、三代にわたって圧力をかけ続ける徳川家と後水尾帝の抵抗とを諸史料でたどる。

◆7◆ 津川安男 著

江戸のヒットメーカー

—歌舞伎作者・鶴屋南北の足跡

定価1,890円(本体1,800円) ISBN978-4-8433-3942-8 C1323

2012年11月刊行

※刊行予定が一部変更になりました。ご了承くださいますようお願い申し上げます。

●以下続刊●

江戸遊女紀聞 —売女とは呼ばせない 渡辺憲司 著

藤沢周平と江戸の浮世絵師 青木美智男 著

美術のポリティクス (仮題)

—「工芸」ジャンルの成り立ちを焦点として 北澤憲昭 著